

九州工業大学自動車部（1952年当時）

当時の写真がありますのでお届けしますのでご笑覧下さい。 人物は何れも工大1～3期生（昭和28～30卒）
以下人名は敬称を略します



今はありませんが当時の本館講堂です。 車はフォードのV-8エンジンを載せたセダンで専ら学長用であったと思います。 一度乗せてもらったことがあります。 当然のことながら部のトラックに比し静かで乗り心地は満点でした。

車検を受ける



トラック（トヨタ戦時型トラック：流星号？彗星号？）の車検前は放課後自動車部の車庫でエンジン、足回りをオーバーホールしました。 後列左から久米・山田・吉田・藤田・野村。 前列：楠田・八木・広田・満井（フォードのドライバー）。 クランクシャフトとバビットメタルを盛ったベアリングの摺合せは手古摺りました。 シリンダーのボーリング・ホーニングは先輩の居た西鉄の整備場に持ち込んでやって貰いました。 前輪のアライメント、タペット調整はすべて部員がやりました。



仕上げは塗装。 この時の車検では荷台の床板に僅かな穴（葉書よりも小さかったと記憶しています）があり不合格となりました。 車検は全く機器類を使わず、検査員が運転し、燈火、警音器、アポロ（方向指示器：現在のようなウインカーはなく、腕木式）ブレーキの作動をチェックするのみでした。

運転免許証の取得：



広い福岡県で試験場は博多一か所のみで、月1回受験のチャンスがありました。

唯希望者が多く、朝早く戸畑警察署前に並んで順番取りが大変だったようです。

小生は並んだことはありませんが。 練習はすぐオーバーヒートする写真のフォードのミニバスで行いました。 ガソリン代として部に確か500円（当時は結構価値あり）を収めたように思います。



試験は先ず“コース切り”で煉瓦1枚分くらい高くなったコースを指示された通り走らされますが、脱輪すると即不合格となります。 小生は第1回の受験で8字コースで脱輪して不合格、翌月2回目で合格しました。 コース切りに合格すると次は路上走行、いきなり大濠公園付近を走らされ、最後に筆記試験となります。

尚、試験車はイズズのダブルキャブトラックでホイールベースは4トントラックより短くなっていました。 ほかにフォードの乗用車もあったようで

これは前方の視界が悪く不評でした。



免許証を取得するとお祝いコンパがありました。

昭和 27 年（1952 年）12 月 9 日小生の取得コンパです
後列左から 山田・広田・吉田・蔵持・後藤。 前列
富田・八木・中島・島の各氏です。



免許を取得すると違法ですがこのトラックでアルバイトをしました。
小倉の到津遊園地を定年退職した人の家族を熊本県まで家財と一緒に
運んだことがありましたが、箆笥などで囲った中に家族を載せ、途中
人が乗っているのを見つからぬよう走ったことがあります。



練習の合間の一休み。

左の写真は八木・中島・後藤

右の写真は小川・八木・中島 女の子は教員のお子さん。



時々このようなこともありました。ただし小生の運転ではありません。

昨年 9 月に久しぶりに母校を訪れた時、この場所が特定できませんで
した。 グランドから正門へ敷地の西側を境界に沿って走っていた道路
ですが。

、我々の居た頃の建物で残っていたのは正門と守衛所だけでした。
守衛所横に植えた卒業 50 年記念の“はなみずき”を見て帰りました



八木 記

昭和 28 年 学科及び自動車部・写真部卒業

末筆ながら諸兄の益々のご健勝をお祈りいたします。

今年 9 月“認知機能検査”という検査を受け、運転免許証を更新しました。

現在大型 2 種、自動二輪免許、愛車は 16 年経ったセフィーロ 2500 です。